



MASUDA mitiya
栴田道也

見えたー!



青春18きっぷで18倍
たのしむ東海道本線

分冊① 東京都

VER.2.0

序

ネットで『青春18きっぷ』を検索すると、
「静岡県の移動がつらすぎる」
という言説にしばしばお目にかかる。

まったくもって、何をか言わんやである。
静岡県なんて（くだりなら）熱海の街を眼下に眺め天下の険の箱根越えを楽しみ、北に富士山、南に駿河湾、どっちを見るか両方見るか。

近年ちょっとしたブームになった工場萌えもご満悦の富士工業地帯と富士川を過ぎて、視界の端から端まで太平洋が広がる薩た峠。

日本平に安倍川越えて、越すに越されぬと言われた大井川。

菊川に沿って牧の原台地を下れば掛川城がお出迎え。暴れ川で名高い天竜川を過ぎると遠江国の由来にもなった遠淡海（とほつあはうみ）、すなわち浜名湖と古くからのリゾート地・弁天島……という按配だ。

退屈する暇など、どこにもない。

本書には、そのような
「東海道本線の車窓から見えるもの」
だけを収録した。

「こんなものも見えるのか！」
と驚いていただければ幸いである。本書を読めば、退屈していた道中がきっと楽しくなるはずだ。

青春18きっぷは、もともと格安のきっぷであるが、元をとるところか骨までしゃぶりつくすことになるだろう。

え？夜になって車窓からの景色が見えなくなったら？……そのときは、撮りためた写真を楽しむか、本なり携帯ゲームなり、寝るなりするしか。

もちろん、神戸のように夜景のすばらしい街もある。

京都を過ぎて神戸までが東海道本線であるという事実 zu 若干の違和感を感じつつ。

2013年 2月 著者

バージョン 2.0 まえがき

一坂太郎『東海道新幹線歴史散歩』という本の存在を知ったのは前バージョンの製作中だった。

このジャンルがとっくに開拓されていたことに焦ったものの、
「（『見えたァー！』では）歴史的なものだけを扱っているわけじゃないし、なにより新幹線じゃないし……」

と言い訳しながら完成させた。完成するまで『東海道新幹線歴史散歩』は読まなかった。意図せぬ盗用が混じってしまうのを危惧してのことだ。

ひとまず完成したあとで、このジャンルの先輩方を読んだ。その成果はこのバージョン 2.0 に生かされている。

参考にしたのは以下の書籍である。

- [近代デジタルライブラリー『鉄道旅行写真入名所案内』](#) 久田弥平 編 1913 年
- 『汽車の車窓から 一東海道一』 森まゆみセレクション 岩波写真文庫 113 1954年
- 『勾配・曲線の旅 日本鉄道名所4 東海道線』 小学館 1986年
- 『車窓から歴史が見える 東海道新幹線』 楠戸義昭 2004年
- 『東海道新幹線歴史散歩』 一坂太郎 中公新書1915 2007年

ほか、バージョン 1 から引き続き、ウィキペディアや各地方自治体のウェブサイトや個人ブログを参考にした。出典を明記したのは個人の創意に係る情報を引用した場合に限らせていただいた。ご理解いただきたい。出典を明記していない場合、著作権を侵害しない公知な情報だけを参照したということである。

本バージョンでは前バージョンで写真が撮れなかったものの補完を中心に作業した。今回の更新までに撮影できなかったものの一部は、確実に見えることがわかっても収録を避けた。

あくまで本書は、著者が電車の中から見えることを確認し撮影に成功したものを紹介する本だからである。駅名表示板など、ネット上のコピーレフトなライセンスの写真を利用していないのもそれが理由だ。

「なぜ、あれが入ってないのだ？」

というお叱りの言葉があれば、筆者へメールなりツイートなりを投げただけであれば幸いである。それは写真が撮れなかったから収録を見送った可能性もあるが、そもそも見えることに気付いていないからかもしれないからだ。

バージョン 2 は補完作業を中心にするつもりだったが、結局のところ

「これも見えた！あれも見えた！」

と新しい発見が多数あった。そして編集作業で調べているうちに

「これも見えるのではないか？あれも見えるのではないか？」

という新たな宿題もできてしまった。

どうも、この「見えるもの探し」はとんでもなく先の見えない作業のようである。長く遊べる楽しみが出来たというか、手をつけるんじゃなかったというか、複雑な気持ちを持って余している。

2014年10月 著者

リリースノート

バージョン 2.0

- 2014 年 10 月 15 日：項目追加および修正
- 上記日付より淀みなく分冊版および各電子書籍サイト用の版をリリース
- 縦書き右綴じだったマンガを横書き左綴じに変更
- フォント表示の改善

追加（新規に入れた項目）

東京都：7 / 神奈川県：16 / 静岡県：21 / 愛知県：13 / 岐阜：4 / 滋賀：4 / 京都：6 / 大阪：3 / 兵庫：3

補完（前バージョンでは無かった写真を補完した項目）

東京都：0 / 神奈川県：9 / 静岡県：6 / 愛知県：5 / 岐阜：1 / 滋賀：1 / 京都：0 / 大阪：1 / 兵庫：1

削除（情報が間違っていたか、または構成上の都合で削除したもの）

東京都：1 / 神奈川県：3 / 静岡県：6 / 愛知県：3 / 岐阜：0 / 滋賀：2 / 京都：1 / 大阪：0 / 兵庫：1

その他、写真差し替え箇所多数。

バージョン 1.0.1

2013 年 03 月 29 日：バグフィックス

バージョン 1.0

2013 年 02 月 19 日：販売開始

目次

- 01.....中扉
- 02.....序
- 03.....バージョン 2　まえがき
- 04.....リリースノート
- 05.....目次
- 06.....東京都
- 07.....東京駅～品川駅
- 11.....品川駅～川崎駅
- 15.....バージョン 2　あとがき
- 16.....バージョン 1　あとがき

本書では以下の地図を使用許諾条件に基づき加工して使用しています。

・ 国土地理院 日本全図 | <http://www.gsi.go.jp/chizuhensyu/chizuhensyu41009.html>

・ オープンストリートマップ (c) OpenStreetMap contributors |
<http://www.openstreetmap.org/>

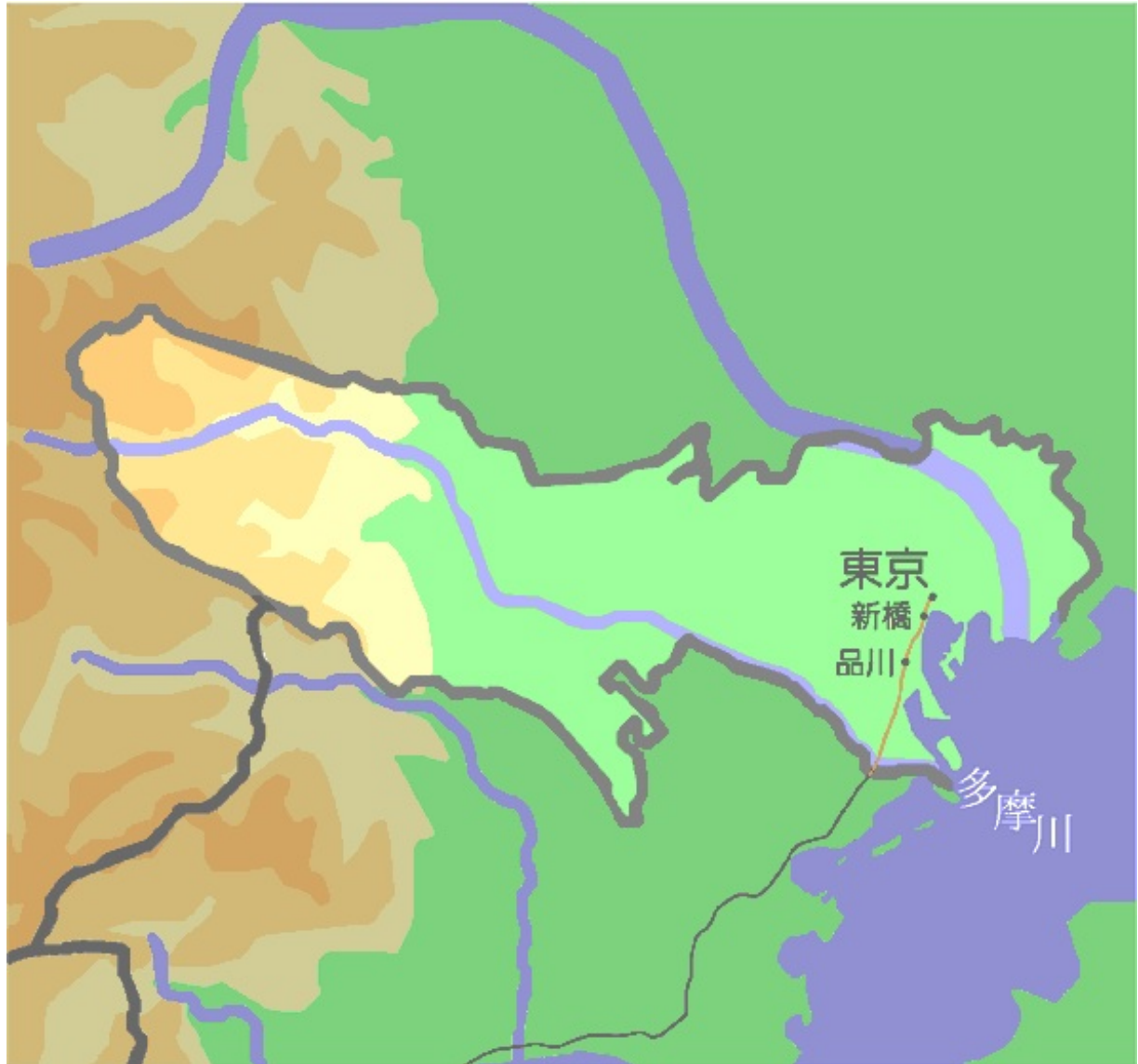
・ CraftMAP -日本・世界の白地図- | <http://www.openstreetmap.org/>

本書の地図のうち県境のないものは OpenStreetMap の地図のみを加工したものですので、CC-BY-SA の下で利用することができます。

"Map data (c) OpenStreetMap contributors, CC-BY-SA". [Creative Commons — 表示 - 継承 3.0 非移植 — CC BY-SA 3.0](#)

地図以外の写真とマンガの著作権は梶田道也が所有します。引用以外の無断転載や頒布を禁止いたします。

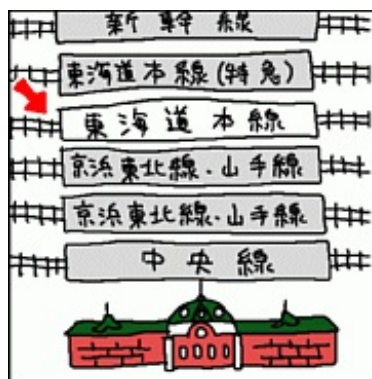
東京都



001～003 東京駅～品川駅

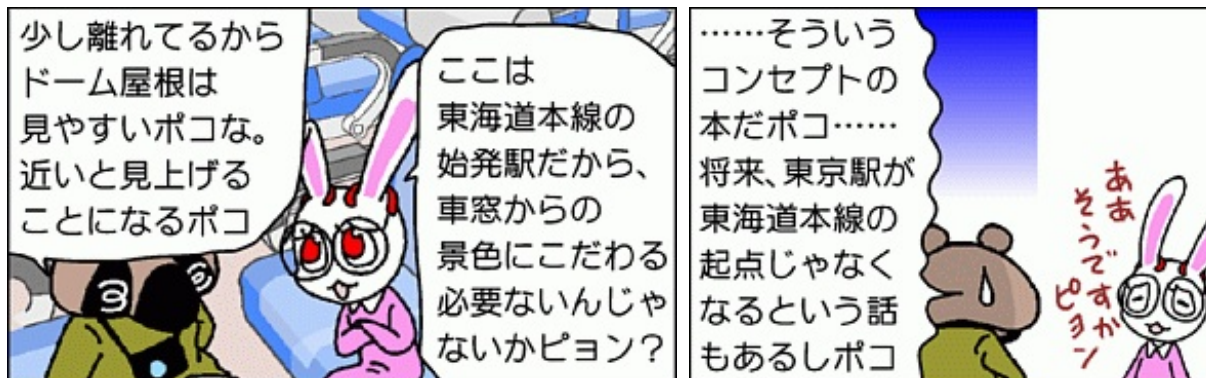


2012年に
復元して
こっち、
見物人が
絶えない
東京駅だ
ポコ



創建当時から
残る東京駅の
赤レンガ壁は
東海道本線の
ホームからは
少し遠い。

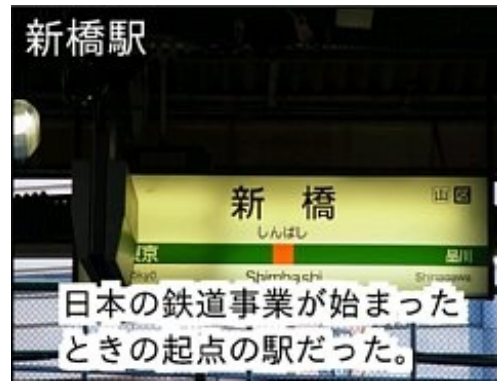




- [江戸城 - Wikipedia](#) / [OpenStreetMap - 江戸城伏見櫓](#)
- [ヒサヤ大黒堂 - Wikipedia](#) / [OpenStreetMap - ヒサヤ大黒堂銀座](#)



- [日比谷公園 | 公園へ行こう! / 日比谷焼打事件 - Wikipedia](#)
- [キャロル \(バンド\) » 解散・その後 - Wikipedia](#) / [OpenStreetMap - 日比谷公園](#)



[OpenStreetMap - 国会議事堂](#) / [新橋駅 - Wikipedia](#)



[OpenStreetMap - 浜離宮恩賜庭園](#) / [OpenStreetMap - 芝離宮恩賜庭園](#)



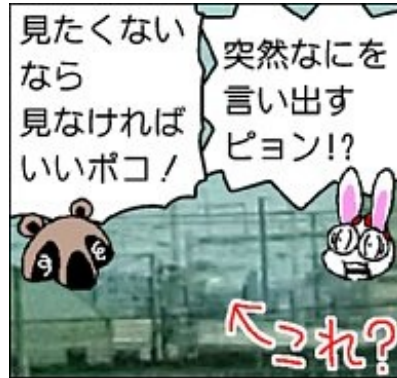
※土木学会田中賞.....優れた橋梁・鋼構造に与えられる賞。（[土木学会田中賞 - Wikipedia](#)）

[OpenStreetMap - 東京タワー](#) / [OpenStreetMap - ゆりかもめ](#)



※（作者注）マンガの構成上の都合でここにしましたが、山手線は東京駅からずっと見えています。

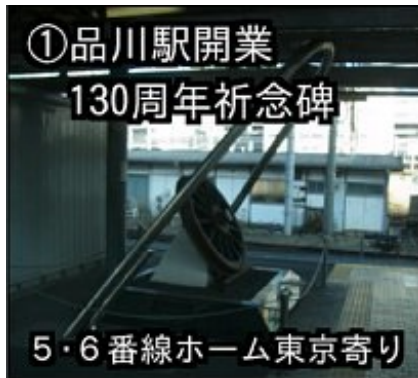
[モノレール - Wikipedia](#) / [OpenStreetMap - 東京モノレール](#)



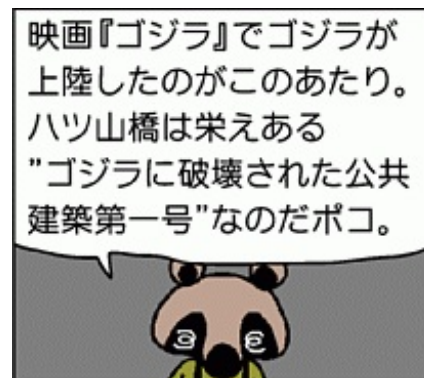
[OpenStreetMap - レインボーブリッジ](#) / [2011年のフジテレビ騒動 - Wikipedia](#)

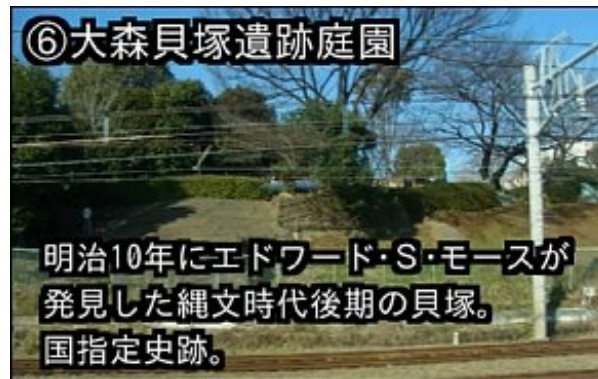
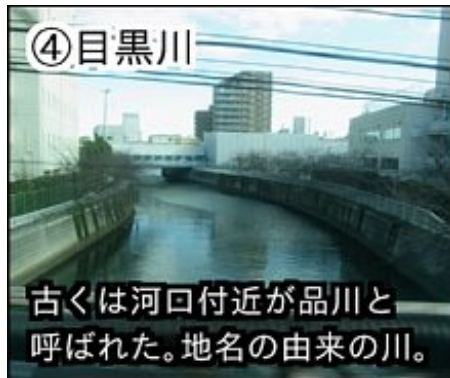
003～004 品川駅～川崎駅



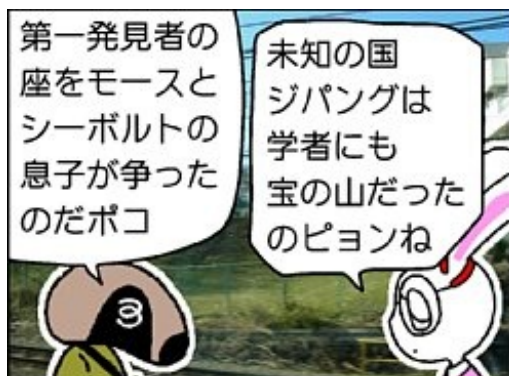


- [品川心中 - Wikipedia](#)
- [リヴァイアサンとは \(リヴァイアサンとは\) \[単語記事\] - ニコニコ大百科](#)





- [OpenStreetMap - 旧大井町変電所](#)
- [OpenStreetMap - 大森貝塚遺跡庭園](#) / [大森貝塚 - Wikipedia](#)
- [エドワード・S・モース - Wikipedia](#) / [ハインリッヒ・フォン・シーボルト - Wikipedia](#)



- [OpenStreetMap - 東急プラザ蒲田](#)
- [東急プラザ 蒲田 × ナムコ](#)



- [OpenStreetMap - 西六郷公園](#)
- [OpenStreetMap - 六郷](#)



バージョン2 あとがき 2014_10_15

前バージョンにあった“NO PHOTO”のコマを払底することができました（3～4ヶ所ほど無理矢理なものもありますが）。まずは、ご報告まで。

本書の前バージョンを世に出して一年。撮れなかった項目をおおむね補完できた。新たに発見したものも撮れた。いくつかの物件は少しマシな写真で撮り直せた。

したがって2014年春には改訂版を出すつもりだった。しかし、横書き・左綴じ・コマ単位画像切り分けへの変更は予想以上に作業量が多く、とうとう第4四半期になってしまった。

横書き・左綴じ・コマ単位画像切り分けへの変更は、今後の更新で、項目を追加したり削除したりしやすくするためだ。とはいえ、私はそろそろこの本から解放されたく、バージョン3で完成にしたいと願っている。

前バージョンのあとがきを書いた頃とは逆に、改訂が必要な大物の「見えるもの」が発見されないよう祈る気持ちがないでもない、今日この頃である。

バージョン1 あとがき 2013_02_19

一読すればおわかりの通り、本書はところどころ、写真が"NO PHOTO"となっている。特に豊橋～岐阜間や米原以西の新快速が走ってる区間は列車が通過駅で減速しないこともあり、列車からは駅名表示板を撮るのが難しいのだ。

また、最初の計画では京都までしか扱わない予定だったので、京都・大阪・兵庫に関しては「車窓から見えるもの」の下調べが甘く、内容が薄くなってしまったと感じている。

これらの問題点は今後数年をかけて改訂・加筆・増補していくつもりだ。読者諸氏におかれては、なにとぞご容赦いただきたい。

それでも、作者としてはバージョン1.0として公開できる面白さはあると判断した。

こういうものは調べれば調べるほどフラクタルのように新たな「見えるもの」が見つかるものだと思っている。こんなものも見える！というタレコミがあったら、ぜひ作者にメールするかツイートしていただきたい。

特に、観覧車と仏像/観音像/銅像/その他の像とお城（なんちゃって城を含む）は大歓迎である。もちろん、情報の誤りや誤字脱字もガシガシ指摘いただきたい。

<https://twitter.com/mitimasu>

奥付

書名(title)

【分冊】 見えたァー！ 東海道本線（１） 【東京都】

著者(author)

梶田道也 (MASUDA mitiya)

出版人(publisher)

梶田道也 (MASUDA mitiya)

copyright

MASUDA mitiya all rights reserved.2012-

初出(ver. 1.0)

2013-02-19

改訂(ver. 2.0)

2014-10-15

- 本書は『見えたァー！ 青春18きっぷで18倍楽しむ東海道本線』（<http://p.booklog.jp/book/66563>）から一部を抜き出して分冊化したものです。
- 分冊の各巻で「序」「バージョン2 まえがき」「リリースノート」「バージョン2 あとがき」「バージョン2 あとがき」は共通しています。
- 初出日、改定日は分冊の元となった本体の初出日、改定日に基づきます。分冊版の作成日、改定日ではありません。